



国税庁e-Taxキャラクターイーター君

# e-Tax 推進税理士事務所のご案内

公益社団法人荒川法人会では、本年度の事業活動基本方針に「(7) 国税電子申告・納税システム (e-Tax) 及びeLTAXの利用促進」を掲げ、「会員企業のe-Tax利用割合を70%以上に高めることを当面の目標とする」旨を明記しておりますので、会員企業の皆様には、この「e-Tax 推進税理士事務所」名簿を参考にさせていただき、顧問の税理士先生によるe-Tax代理送信をはじめ、e-Tax及びeLTAXの更なる利用促進になお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

荒川法人会会長 大久保 俊男

東京税理士会荒川支部「e-Tax 推進税理士事務所」(敬称略)

平成26年8月末日現在

氏名	事務所	電話番号	氏名	事務所	電話番号
税理士法人萩野会計事務所	南千住 5-25-14	3803-2328	大澤 陽一郎	西日暮里 5-23-7-301	3805-1020
笹島 健司	南千住 7-1-1-702	3806-6563	小坂 忠義	西日暮里 5-27-4-1204	3806-1466
高村 千秋	東日暮里 3-32-12-301	6806-8818	飯田 小夜子	西日暮里 5-31-14-4F	3807-5711
片岡 正光	東日暮里 3-39-13	3801-1861	佐藤 博司	西日暮里 6-11-9	3893-8520
嶋田 裕一	東日暮里 3-42-8-1405	5811-6330	高橋 保夫	西日暮里 6-25-12	3800-6633
太田 謙次	東日暮里 4-11-10	3807-0569	アクタス税理士法人	荒川 3-21-2-105	3802-8101
加藤 吉郎	東日暮里 5-22-9	3805-5545	石井 孝光	荒川 3-63-2-2F	3802-4515
孫 準	東日暮里 5-41-12	6806-5167	松本 幹夫	荒川 4-38-4-405	3806-7272
鈴木 剛	東日暮里 5-52-2-401	3802-3327	小泉 昇	荒川 5-4-2-703	6806-8156
田中 秀昭	西日暮里 2-17-7-3F	5615-0171	上南 日出男	荒川 5-46-7	5692-0225
岩倉 一久	西日暮里 2-21-4-3F	3803-0600	磯野 照樹	荒川 6-31-9	3893-9333
富岡 潤一	西日暮里 2-21-6-602	3806-0006	若宮 俊樹	荒川 6-37-2	3895-5171
柳谷 せつ子	西日暮里 2-25-1-1702	3801-2802	赤池 照子	荒川 6-65-8	3894-4807
小野 敏人	西日暮里 2-53-2-101	6806-6940	鈴木 義明	荒川 6-65-8	3894-4807
井上 俊彦	西日暮里 3-6-9-2F	5815-8377	望月 壽夫	町屋 1-14-1	3892-5741
木田 正幸	西日暮里 4-23-3	3828-3136	金子 隆俊	町屋 1-19-1-102	3892-4273
小川 秀行	西日暮里 4-29-1	5685-7474	大久保 俊治	町屋 8-8-7	3892-4426
税理士法人TMC会計	西日暮里 5-5-2-4F	5604-0145	古川 芳雄	東尾久 2-45-7-201	3892-6449
税理士法人永瀬事務所	西日暮里 5-14-4-2F	3806-8001	斉藤 潤一	東尾久 5-41-4	3893-4726
古河 法子	西日暮里 5-14-4-7F	3891-2108	下村 典正	西尾久 4-8-10-201	6807-6933
大澤 泰一	西日暮里 5-23-7-301	3805-1020			

## 随筆

良い意味でも、悪い意味でも、期待を裏切ってくれた「2014FIFA ワールドカップブラジル大会」が終わって数か月がたった。開幕前ブラジルでは、会場建設が遅れ開催が危ぶまれたり、政府の経済政策に不満を示した民衆が開催反対のデモを繰り返していたが、さほどのトラブルも起きず、良い意味で期待を裏切ってくれた。

しかし、大会では強国と言われた国々が予選リーグで姿を消していった。歴代優勝国が揃った予選D組では、最弱と言われていたコスタリカが2勝1分けでトップ通過し、イングランドとイタリアが予選敗退した。日本も史上最強のふれこみで乗り込んだものの、結果は1勝も出ずにブラジルを後にしたことは、サッカーファンでなくても期待を裏切られたことでしょう。そして、前回大会の覇者スペインも初戦でオランダに1-5と大敗を喫し、第二戦にも敗れ開幕7日目で早々と敗退が決まった。前回スペインは、FCバルセロナの選手が中心となり、細かいパスを繋ぎながら相手を翻弄し得点を重ねていく

というサッカーで見事初の栄冠に輝いた。しかし、今大会ではそんなパスサッカーを封じ込める策として、ディフェンスに人数をかけ、奪ったボールを前線に素早く運ぶ「堅守速攻」型のチームが勝ち進んでいった。それがFCバイエルンの選手を中心とし優勝したドイツであったり、オランダやコスタリカであった。世界のサッカーの主流が4年間でガラッと変わった姿を目の当たりにした。

既に日本は4年後に向け、新たに迎えたメキシコ人監

督がどんなサッカーを構築するのか、期待と不安が交錯する。不安と言えば、次期開催国のロシアの最近の動きである。ウクライナへの軍事介入や旅客機撃墜の疑惑等、西側諸国との関係が気になる場所である。「BRICS」21世紀に経済発展が見込まれる国として、ワールドカップの開催地はブラ

## 「4年後は？」

荒川支部 安達豊基

ジルからロシアへと決まったが、このような状況が続くと、1980年ソ連がアフガン侵攻に抗議して西側諸国が参加しなかった、モスクワ五輪のようにならないかと、いらぬ心配をしてしまう。これからの4年間、サッカーのスタイルも世界情勢も良い意味で期待を裏切ってくれば良いのだが。